

FCS 中学生コース 通常授業【31年シーズンv2.1】 要項一覧

※中学内容（高校受験）を毎週1回、月計4回授業。
※一講座（一科目）から受講可。

※形式は予習塾（中学内容の速習）で少人数集団授業（大学院のゼミ形式）。試験前は復習。学年はなく（小学生の参加も妨げません）、生徒が学びたいだけ、先に解き進める画期的な講座。

※英語は指導要領改訂に伴い、四技能英語対応のSコース（教材はプログレスです。国語力があれば小学生も参加可）。

※数学は学校で配布された「Aクラス（久留米附設）」「高校への数学（久留米附設）」「体系数学（大濠・早稲田佐賀）」をそのまま使用。だから無駄がありません（公立中・付属中組はウィングプラス）。中高一貫生は中2二月から高校数学予習講座→高校数学Rコースに昇格します。

※理科は8力年分の入試問題（公立・久留米附設）をベースに教えるJコース理科と中高ボーダレスのRコース物理、Rコース化学が開講。

Jコース 数学

■Jコース数学要項

◆学年に関係なく中学数学を速習できる画期的講座

Rコースに転塾して来た修猷館高校1年生が「これ去年習いました。でも『そうなるから』で、どうしてそうなるかを今日初めて知りました」と答えました。

多くの塾、塾教材は未だ新課程数学に対応できてないのでしょうか。脱ゆとり教育で中学数学と高校数学の境界は小さくなりました（幾何・データ・整数・確率）。

FCSは元々修猷館高校等現役高校生対象の予習塾です。だから、高校数学に全対応できる講師陣が標準。その彼らが中学数学を教えています。

FCSの特長は「学年のない」指導です（中1でも中2、3、高校の数学が学べます）。全国の「速習」塾の先駆けにもなっています（塾関係者、学校関係者からの問い合わせ、視察もあり、類似する塾が全国にできています）。

ただ「FCSのやり方を導入したら、子ども達は面白いように先取りができる。でも、そのあとが心配だ。『速習』が終わった後は（我々は）どうしよう？」

福岡にも「速習」を行う塾があるようですが続きません。それは先の証言のように「技量（人材）不足」です。

修猷、附設生に教える事ができる先生（スキルの高い人材）を使って、中学数学を「速習」してみませんか？

会場●FCS藤崎本館／詳細●時間割他、HPへ

◆復習を希望する方は定期考査前に行います。久留米附設中生が購読する「高校への数学」にも対応。

◆小学生の参加可。◆難関私立高校受験対応。

S（小・中学生）コース 英語

■Sコース英語要項（教材にプログレス使用！）

開催日●日曜日17:30～18:50（初級）
19:00～20:20（中級）
20:30～21:50（上級）

会場●FCS藤崎本館（早良区役所正面）

■主宰者からのメッセージ「Sコースの英語とは」
大学入試改革に即応した英語講座の決定版

S英語はプログレスに精通した先生に登壇頂いています。久留米附設中学、福岡雙葉中学の英語進度も理解し、四半世紀近いキャリアを誇る先生が指導します。

一流海外大学留学指導にも通じ、文部科学省が目指す、グローバル英語（聞く、読む、話す、書くの4技能統合型言語活動）が身につく最新英語講座です。

■中高ギャップの解消、BOOK3＝センターレベルだから久留米附設1位（中2）、西南学院1位（中2）！

久留米大附設の生徒が圧倒的な合格実績を誇る秘密は？入試問題を見て頂ければ一目瞭然です。公立高校、市内の私立高校は限られた単語でしか問題は作られてませんが、附設は大学入試センター並の語彙、英語のスキルを求めています。本講座はプログレスを教材に使う事で、中学英語の枠にとらわれず、経済界が求める英語力を中学生に身につけさせる講座です。

Jコース 国語

■Jコース国語要項（中高ボーダレスの国語講座）

◆『生徒それぞれの“個”を尊重し、客観的且つ論理的に文を分析する力を育てる』

授業は生徒さん各自のペースを大事にしつつ、必要に応じて、タイミングを見計らいながら解説を施すという形で進められます。

長文指導の目標は、自分のフィーリングに頼らず、根拠に基づいて解答できるよう、客観的に文章を読むことができる力を養成することです。記載された一語一語を大事にして、自分の思いを勝手に入れず、論理的に分析する能力を育てていきたいと思っています。

また、高校入試の対策も兼ねて作文練成も行っています（「今解き教室」を希望者に使用）。単に字数を埋めるだけの点取り作文ではなく、内容の濃い文章を書けるようになることも目標に掲げています。

最近、高校生の参加者も受け入れておりセンター入試対策も行っています（能力に秀た中学生も指導可）。

教室の雰囲気は大変穏やかです。学校で解からなかったことも含め、気軽に質問・相談できる空気を作っています。

国語の問題に対する解釈は、確かに人さまざまかもしれませんが、解答が解答であるための根拠は必ずあるものです。その根拠をどのように探したらいいのかということも含め、時には討論になることもあります。答を答として押し付けても力は向上しません。生徒の意見は意見として一旦は受け入れ、その後、自分の解答が本線から脱落していることを、気付いてもらえるような指導を目指して努力しています。

会場●FCS藤崎本館／日時●毎週水曜日 20:10～

Jコース 理科

■Jコース理科要項

●毎週土曜日18:20～

●FCS藤崎本館（早良区役所正面）

●授業計画案（1年間で中学理科全体像を講義演習する内容になっているのが特長です）

▶3・4月は物理分野

▶5・6月は化学分野

▶7・8月は演習（夏期講習的に）

▶9・10月は生物分野

▶11月は地学分野

▶12・1・2月は入試問題を解いていきます

●2月は入試問題の標準レベルからやや難の演習→解説をします。

■要項

本コースは過去8年分の公立（福岡県）入試問題（+適宜附設入試問題）をベースにテーマ毎に授業、演習を行います。

各月テーマを決めて、最初に授業（講話）→演習を進めます。

公立入試8年分の問題を単元毎に分解。単元毎の講話→書き取り→授業後にノートまとめ。次回授業前半に前回の講話の完全記述試験（生徒が単元を記述表現できるようにする）→講評。後日、入試問題を解かせます。

普通の塾では最後のサイクルだけをやっていて、スキルの高い先生であればそこで理科の現象やしくみの説明ができます（楽しい授業）。

この講座ではそのスキル（講話）部分を前面に出し、生徒にまとめさせる、という福岡では類の見られない講座です（数学のような計算練習が伴う物理、化学分野はまとめに留まらず錬成をさせます）。

そして、1年間、しっかり受講すれば、中学理科がすべて身につくようにカリキュラムを組みました。

ところで、久留米附設入試問題をゴールに理科をゼロから教える事が出来る（語れる）先生、授業は少ないはずです（教材の答え合わせと多少の説明だけ。説明を誤摩化さないのは一部の自称最高峰クラスで見られるくらい）。

それは、比較的平易な問題を出題する福岡県公立入試理科、福岡都市圏にある私立高入試理科攻略には「そこまで必要ない」からだと思われます。

毎回ではありませんが、FBにJコース理科の板書を掲げています。ご覧頂けるとJ理科の授業は一切の妥協をしていない事が視認頂けるかと思えます。

中学時代理科が高得点で公立最高峰の高校に合格しても「中高の理科ギャップ」のため私大文転してしまうケースは少なくありません。お子様が私文転してしまわないようしっかり大学に繋がる理科を教えたいと思います。

尚、高校受験がない中学生はRコース物理、化学を履修する事をお勧めします（中学受験の理科の入試問題と公立高校入試のそれを見比べて下さい。全く同じか、それ以上の内容である事にお気づきになられるでしょう。灘中学校、久留米附設中学校では理科～化学は「モル」で習うのです）。

Jコース 社会

■Jコース社会要項

●毎週水曜日19:00～

●2月は歴史を一通り学習し終えた後、地理の学習に入ります。その際、十分に歴史分野の復習も行います。

●主宰者推薦図書／岩波新書／日本の歴史〈上〉〈中〉井上清著（1年後、読める子を創りたいです）

●FCS藤崎本館（早良区役所正面）

■自ら情報を発信する全く新しい社会の授業

「成功する人とならない人、その違いは何でしょう」人生において成功する人は共通してあるものを持っています。それは「発信すること」です。

自分の計画、思いを上手く発信することはこれから先とても重要視されます。

そこでFCS中学社会の講座では学習したことを作文用紙にまとめる事を月に1度行います（ほぼ単元毎）。

■「答練」意識した「プロ生徒育成」

地理、歴史、公民すべてにおいて社会は普通の塾ではひたすら覚えることが多いです。

確かに覚えることは、受験において人生においても大切なことではありますが、より効率的に楽にこなすチカラも大事です。

理解をし「なるほど!」と知識の点と点を結ぶことができれば、楽にたくさん覚えることができます。

FCSでは、生徒自らが理解をし、人に社会を語るこのできるような授業を目指します。もちろん、暗記は欠かせないものであるため、記憶を定着させるにはインプットしたものをアウトプットすることが重要です。よって、覚えたことは問題を解くことでアウトプットしましょう。

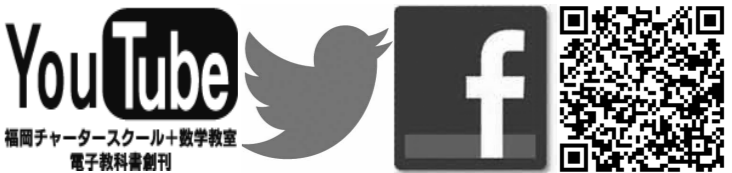
■なぜ?に興味を持つ子、理由を追い求める子を募集

先日、中部地方の地理の授業をしました。

子ども達は山陽地方山陰地方の2区分に分けて呼ぶものの他に、四国地方を合わせて気候区分として山陰地方、瀬戸内地方、南四国地方の3区分に分けて呼称するものがごっちゃになって混乱していました。

まとめる事への経験値がある子なら、それぞれの気候区分、風向や地形を重ねて考え、そして名前の漢字を照らし合わせる事で、暗記する以前に自ずと頭に入ってきますが、まだ、素養が育まれていない子だと、いくら勉強しても情報をまとめる事ができません（そのまま成人し、自分の考えを文字に起こす事ができない大人になって行くのです。勿論、点数も取れません）。

地理でたとえるなら、地形発生の理由、名前の由来などに興味を持つような「地理」「歴史」「公民」で理由を追い求める子の参加を歓迎します。



高校数学講座

数ⅠA予習コース・数ⅡB予習コース・数学演習コース

開催日●木・土（予習）日朝・月・火・土（演習）会場●F C S藤崎本館・ももちパレス

予習コースでは高校で使われている教材を使い、高校の授業の予習の説明→演習を繰り返して行きます。

数ⅠA予習コースは高校1年生・中高一貫中学3年生、数ⅡB予習コースは高校2年生・中高一貫高校1年生が対象ですが、緩やかなグループレッスン形態を取っているので前者が入会1年目、後者が2年目のグループで後者の理系の会員（修猷高2）は数Ⅲまで進んでいます。

3年目のグループや1、2年目のグループで演習を積み増したい会員が演習コースで数学の考究を続けています。

中途で入会する子、転塾してきた子は、体験を通して、そのいずれかのグループに入っていく事になります。

・多くの疑問「塾・予備校」では「革命」

予備校や大手学習塾は一つの授業ラインがあり、生徒がそのラインに乗る事を強要されます。

F C Sはラインは複数ありますが、先生の数、教室の数がその分必要となり、回らなくなるのでは（塾が私立中対象としたりくない本当の理由）との疑問を保護者、全国の塾・学校関係者から尋ねられました。

キーワードは「予習」。学校の復習をメインにすればラインは複数必要です。しかし「予習」すれば収斂します。

ただ、学校で習った上で生徒に教える「塾・予備校」界ではこれは「革命」です。技量のない先生がこれを行うと生徒は激減し、どんなに看板が大きくともクラスは消滅します。

高校化学講座

開催日●毎週金曜日19:10～／20:40～（だいたい90分）

会場●F C S藤崎本館

内容●大学入試における化学は細かい単元がたくさんありますが、大きく分けて理論・無機・有機の3つに分けられます。

この内無機・有機はどうしても覚える内容が多く、覚えれば覚えるだけ得点力に直結するような分野です。

一方理論化学は化学全般の土台となる分野で、理解がとても大切です。実際、出題の比率も高く、センター試験の半分以上は理論化学分野から出題されています。

理論化学さえしっかり押さえておけば、後は暗記量に比例して点数は伸びていくため、まずは理論化学をしっかり身につけていくことが大事です。

もちろん理論化学を特に手厚くケアしていくことを考えています。

授業は説明や整理を行った後で、問題演習を行う形式をとります。問題を解く時に理論をどのように活用するかが大切なので、ただ解くだけでなく「何を問われているのか」「どのように問題文を整理して知識と結びつけるか」などの解答の根拠などを示し、幅広い問題に対応出来る力を付けます。無機・有機については、表で整理したり、まとめて覚えると覚えやすいものなどを示した上で、とにかく反復して知識の定着を図ります。

物理と同様、全ての範囲が終わった生徒は受験生枠を別に設け、実際の過去問や受験対策用の問題演習を繰り返すことで実力をつけます。

授業で躓いた生徒、今後化学が必要になるため予習しておきたい生徒など誰でも歓迎します。

説明は理論化学のはじめから、0から学ぶという前提で進めていきますので、全ての生徒に新しい気持ちで取り組んで貰います。

「復習」は？適切な予習を行えば、質問が減るので、復習の必要がなくなります。試験前は他教科に時間を充てるようになるほどです（復習、学校の課題の消化を希望される会員は日曜日13時から17時に開催される「先生つき自習室（会員無料）」で解消できます）。

・この船に乗り遅れた人はどうするの？

あなたが予習を行っている限り、落ちこぼれるという概念はこの教室にはありません。

しかし、この教室に通う機会を逸し「炎上中」の生徒はどうすればいいのでしょうか？

炎上した船を修復しながら、目的の港に向かわせるのは（それも他の船と競争しながら）極めて困難です（近くの港なら到達できますが）。

過去炎上し、足が遅くなった船を修復した経験が教える事は「人の二倍、三倍努力した」至極当たり前の事実でした

幸い、F C Sは予習二コース、演習コースの掛け持ち参加は妨げません（受講料の追加徴収はしてません！）

しかし、不思議な事に会員なら誰でも使えるこの制度を活かせるのは一握りの「夢を実現する執念に満ちあふれる人」だけです（「タダ」だと人は使いません。You Tubeも）。

付属中→修猷館→東京大学に現役進学した卒業生は一ヶ月に16回出席した月もありました（+You Tubeも利用）。

「夢のある子」の参加をお待ちしています。叶えましょ

高校物理講座

開催日●毎週金曜日19:10～／20:40～（だいたい90分）

会場●F C S藤崎本館

内容●物理大学入試における物理の分野には力学・電磁気・波動・熱・原子があります。

中でも力学と電磁気の2分野は必ずどこの大学でも出題されており、この2分野をしっかり身に付けることは重要です。

さらに言えば、物理の初めに習う力学は、数学における式と計算のようなもので、物理全体の基礎となる部分であり、もっとも重要な分野です。

“物理が嫌い”というほとんどの人はこの力学でつまづいています。

物理の問題は当然ながら、公式や物理法則を適用しなければ解けません。しかし、公式はただ暗記しても、現象を正しく理解していなければ、それを適用することすらできません。

そこで授業は始めに説明を行い、理解をしてもらった上で、その理解を助け、覚えるべき事を「使える」形で覚えるために、最適な問題で演習を行う形式をとります。

理解した現象を問題へと結びつけていく方法を示しながら、実際に行う問題演習ではそれぞれの生徒に助言を与えつつも自力で解かせる時間をとります。

また、全ての範囲が終わった生徒は受験生枠を別に設け、実際の過去問や受験対策用の問題演習を繰り返すことで実力をつけます。

授業で躓いた生徒、今後物理が必要になるため為予習しておきたい生徒など誰でも歓迎します。

説明は力学のはじめから、0から学ぶという前提で進めていきますので、全ての生徒に新しい気持ちで取り組んで貰います。



中学数学予習講座

日程●日曜朝、月曜夕方、火曜夕方、土曜夕方、2月第1週より3月一杯まで二ヶ月間開催

会場●F C S藤崎本館（早良区役所正面）

要項●本講座は2月1週目から中学の教材を好きなだけ解かせる講座です。教材は中学で使う教材（附設ならAクラス、大濠なら体系数学）ですが、西南中、付属中、公立中はウイングプラス等塾教材を使い（希望し、耐える事が認められれば、附設・大濠の教材でも可）、中学数学を先取りさせます。

一斉授業形式は取りません。分からない問題は随時、板書して、はい解いて、を繰り返して行きます。その子のペースで進むので「おちこぼれ」と言う概念はありません。その子が進めるだけ進めるのです。特に受験終了後の熱い頭脳があれば、面白いように子どもは解き進めてます（最近、授業が評判になり「子どもに様子を見せたい」と親子や同業者が視察に来られます）。

「受験が終わって羽根を伸ばさせてあげたい」と思われている親御さんご家族には不向きな講座かもしれません。

「何故、あの時、勉強していたんだらう（久留米附設中学校3年生100番台・当時）」

もの心つく前に、進めるだけ、進め、貯金を作ってあげましょう（学校が始まると貯金は中々出来ません）。

「先生、自分には勉強しか取り柄がない、だから頑張るしかない（先の附設OB、高校2年時での名言→熊大医学科現役合格、現在医師）」

高校数学予習講座

日程●前期（Fクラス）2/2,9,16,23,3/2　●後期（F & Uクラス）3/9,16,23,28,29,30 翌毎週木曜日を予備日に当てます
個別説明会●1/31(木)2/2(土)17:40～※Fクラス直前説明会　●2/14(木)17:40～※推薦入試内定者他、Fクラス編入説明会

●3/7(木) 9(土) 17:40～※Uクラス直前説明会

内容●前期/三角比 後期/二次関数

教材●高校（中学）で使われる参考書、無い場合貸与　会場●ももちパレス、F C S藤崎本館

要項●公立入試組は後期から参加。超難関私立高校合格者、春から高校数学を本格的に学ぶ中高一貫中学2年生は前期から参加。高校数学の教材を解き潰し、入学式を迎えさせる講座です（昨年度は附設は青チャート、修猷館、筑紫丘は赤チャートをポロポロになるまで解かせています）。

授業の様様は毎年YouTubeにアップロード。参加者の多くは事前に動画を見て来るので高校の教材が面白いように解けます（授業もします！収録するので）。

修猷館等推薦入試内定者の中途参加も可（今年度の大学への数学Aコース1等賞1席の生徒も推薦入試内定後この講座参加。高校数学の予習を行っています）。

フォニックス 中学英語準備講座

日程●2/3（日）17:30～18:50（3/24まで計8回）

希望される方には日曜S1英語(プロGRESSを教材にした4技能英語)コースの授業前(17:20ごろ)に指導者、生徒、保護者、三者直接会してご面談されることをお勧めしています(全く英語ゼロのお子さまから帰国子女まで幅があるためです。アポイントメントは必要ございません)。

会場●F C S藤崎本館（早良区役所正面）

要項●これから英語を学ぼうとする小中学生は、まず2月から2ヶ月間、集中的にフォニックス(アルファベットの読み方、連なりの読み方、仕組み)をまなび、音を聞き、読み、書き取る初歩的な訓練を行います。

小学生はローマ字ベースで英語を理解していますが、この癖を直し英語を英語として理解できる（発音記号なしで英語が読めるようになる）訓練を積んでいきます。

4月第一週からはPROGRESSを教材に使う、中学英語Sコース（4技能英語対応講座・3/31説明会兼体験授業）で学習を継続する事も出来ます。

公立中や公立中に準拠する教材を使用する私立中の子でPROGRESS（ホンモノの）英語を学びたい方、学ばせたい保護者にとって本講座はかけがえのないものとなるでしょう。

高校英語準備講座

日程●3/26(火)27(水)28(木)29(金)10:00～11:30（計4回）

会場●F C S藤崎本館（早良区役所正面）

対象●新高1（文法・構文に特化したので高校生全学年、中卒程度の英語力を持つ小中学生も参加可）

要項●東大突破経験のある講師による、英語構文完全マスター講座です。

英字新聞から抜粋した豊富なテキストを使い、好きなジャンルの記事を読んで、大学受験に必要な構文を全部マスター！

英語に特有の「見えない構文」が見えるようになります。

講師プロフィール●1974年(昭和49年)京都市生まれ。塾に頼らず独学で東京大学文科I類合格。東大法学部卒。京大法学部大学院修士(独占禁止法)修了。

2015年(平成15年)オリックス株式会社を退社後、ももちパレスにて、小学生向け知能向上塾「地頭練成の山本倫孝塾」を開講(主宰者注※今全国に広がりつつある塾に入る前に子どもを賢くする塾)。

ライフワークとして、今年は、月1冊原書を読み、1月は「HOMO DEUS」を読了(主宰者注※英語力は抜群かつ小学生の指導を通して「分かりやすく教える術」を日々研鑽されてある先生の登壇です)。